

「自主、自立、自信」子供の「できた!」を見守る伴走者



いずかし

正しく歩くと安全に

3日(水)に交通安全協会、市役所(危機管理課)、そして地域の交通指導員の皆様を招いて、「交通安全教室」を開催しました。今回の教室では、実技を交えた安全な自転車の乗り方に加え、新しく導入された自転車の法規(青切符制度の導入など厳罰化された交通ルール)についてのご講話もいただきました。子供たちは、自分たちの身近な乗り物である自転車が「一歩間違えれば加害者にも被害者にもなる車の仲間」であること

を真剣に受け止め、講師の方々のお話を真剣な態度で耳を傾けていました。自転車は便利で楽しい乗り物ですが、命を守るためには一人一人の高い安全意識が欠かせません。ご家庭でも今一度、次の安全意識を高める3つのポイントについてお子様とお話した

だき、正しい自転車の乗り方の習慣づけをお願いいたします。

①「しっかり止まる・見る」の徹底(交差点での一時停止と安全確認)

②ヘルメットの着用と「ながら運転」の厳禁

R8.6月4日 9号

文責：園田

※スマホを固定して大音量で音楽を流しながら運転すると、周囲の音に気づかず大変危険で迷惑にもなります。

③歩行者への思いやり運転

歩道を走る際は歩行者が最優先です。スピードを出しすぎず歩行者に配慮する運転を心がけましょう。

「自分の命は自分で守る」という意識を日々の生活の中で実践できるよう継続して指導して参ります。ご家庭におかれましても、お子様への声かけや安全点検も定期的に行っていただきま



真剣にしっかりと話を聴く子どもたち

知っておきたい!自転車の歩道通行ルールと熊本県の事故状況



体力診断テスト

5月26日(火)、全校児童が体育館と運動場に分かれて「体力診断テスト」を実施いたしました。この日は、どの子も「去年の自分を超えよう!」と、真剣かつ笑顔で種目に挑戦する姿が

とても印象的でした。

数の計測が難しい種目では、上級生が補助としてお手伝いに入ってくれました。お兄さん、お姉さんが優しく声をかけ、てきぱきとサポートしてくれたおかげで、時間内にとってもスムーズにテストを終えることができました。上級生の頼もしい成長を感じる、素晴らしい連携でした。

本校では、以前から「投げ力(投力)」の向上が学校全体の課題となっています。これに

対して、体育委員会が中心となって日頃から工夫した取り組みを続けてきました。今回の子どもたちの様子を見てみると、ボールの扱い方に慣れ、その成果が少しずつ形になって表れているように感じます。



しっかりしたフォームで投げる子ども

教育事務所から学校訪問

5月27日(水)に八代教育事務所から、所長様をはじめ3名の方が、本校の教育活動の様子を視察するために来校されました。

はじめに、校長室にて本校の学校教育目標達成に向けた取り組みや、「子供たちの学力・学習状況の実態」について等、本校の概要を説明し、その後、すべての学級の授業の様子を見て回られました。先生方は、どの教室でも子供たちが先生の話を真剣に聞き、自分の課題に黙々と取り組んでいる姿に深く感心されていました。

どのクラスも非常に落ち着いた雰囲気です。前向きに学習している様子で、「前向きに学習している温かいお褒めの言葉をいただきました。大変嬉しく思いました。」



授業を参観される様子と学習をがんばる3年生